

第2回とやまスタートアップ戦略会議（富山県成長戦略会議WG） 議事要旨

日時：11月17日（水）16：00～17：00

場所：県庁4階大会議室・オンライン

- ・県のスタートアップ支援への姿勢を明確にし、起業家に対して県が起業家を応援する旨のメッセージとする上でも、具体的な数値目標を設定することは良い。IPO 案件の創出はハードルが高い一方、大学発ベンチャーの創出については実現可能性がある。
- ・支援施策の実施に加えて、個々の起業家の相談にのる指導者役を配置することが重要。
- ・支援施策を作るだけでなく、誰が支援を実施するのが非常に重要。他地域で支援実績のある事業者と組むことも、より早く制度を構築するために重要ではないか。
- ・仮に IPO を目指してスタートアップを支援する場合、ハードルはかなり高いため、支援対象企業数を絞って徹底的に支援するほうが成功率が高まる。
- ・支援対象企業は新陳代謝が働く仕組みとするべき。
- ・支援施策はマーケティングの面からも他の地域との差別化を図るべき。例えば「富山県の支援制度は日本一手厚い」など、わかりやすいワンフレーズがあったら良い。
- ・なぜ富山で起業するかを強調すべき。例えば、医薬品産業は、製造・製剤を委託できる企業が集積しており、富山ならではのポジショニングができる。